

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（10月10日～10月16日掲載分）
 - ・分野別情報
 - ・報道発表
 - ・各種情報
- 2 現場レポート
 - ・海の職場も身近にあるよ！
 - ・川内原発で総合防災訓練を実施
- 3 職場から
 - ・ストライクッ！ ボウリングで健康増進はいかが？
- 4 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報 （10月10日～10月16日掲載分）

----- 分野別情報 -----

《公共交通活性化》

地域の交通活性化（4．各種補助メニュー等〔地域公共交通確保維持改善事業〕
フィーダー系統確保維持費、地域協働推進事業 追記）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/m_koukatsu.html

《物流》

倉庫業の新規登録状況（7月、9月分掲載）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/list.html#sou_shobun

《バス・タクシー・トラック》

バスの申請・処分状況（9月分掲載）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/bus_syobun2509.pdf

タクシーの申請・公示状況（10月分掲載）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji251011.pdf

トラックの申請・処分状況（9月分掲載）

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/truck_syobun2509.pdf

----- 報道発表 -----

盲導犬、バスやUDタクシーについて学習します。

～バリアフリー教室 in 大分市立植田小学校、寒田小学校～

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-1011-syohi.pdf>

平成25年度九州運輸局「鉄道等無事故表彰」及び「鉄道関係功労者等表彰」
について

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-1011-keikaku.pdf>

欧州において九州観光の魅力をPR！

～ロンドン、パリ、アムステルダムで取組みます～

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2013-1016-kokusai.pdf>

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

5 . 企画競争実施公示 (1 0 月 1 6 日 公 示 分 まで)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

9 . 企画競争結果の公表 (1 0 月 4 日 公 表 分 まで)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_251008.pdf

2 現場レポート

海の職場も身近にあるよ！

10月2日、海事産業次世代人材育成事業の一環として、造船所及びシリンダライナ（ピストンが往復する筒状のエンジン部品）製造工場の見学会を開催しました。

佐賀運輸支局唐津庁舎では例年、小・中学生、高校生を対象に海事関連施設の見学会や就業体験などを実施し、海事産業の重要性や職場の存在を知っていただくための活動を行っています。

今回の見学会は、将来の船員を養成する独立行政法人国立唐津海上技術学校の2年生41名が参加しました。

（株）名村造船所伊万里事業所（伊万里市）では、船が出来るまでの工程等の講義を受けた後、バスに乗って造船施設や船舶の製造工程を見学しました。

途中、建造中の鉄鉱石運搬船（全長333m、25万重量トン）に乗船し、船橋、船長室などを見学したところ、「でかっ！」「すごい！」などの声が聞こえ、普段練習船で訓練している生徒でも船の大きさとその迫力に、驚きを隠せない様子でした。

東亜工機（株）本社工場（鹿島市）ではシリンダライナの講義を受けた後、工場の施設や製造工程を見学しました。

1350 の溶けた鉄が、溶解炉から鑄型に注ぎ込まれる様子はかなり迫力があり、生徒にとっても貴重な体験になったのではと思われます。

見学終了後のアンケートでは、「巨大船に乗れたこと、シリンダ製造工程を見学できたことは貴重な体験だった」「県内で大型船のシリンダライナを製造しているとは思わなかった」などの回答があり、身近にも海の職場があることを認識してもらえたと感じました。

当支局では、今後も見学会2回、職場体験1回を計画しており、次世代を担う若者たちが海事産業への理解と関心が高まるよう、PRに努めて参ります。

当日の様子は、下記URLからご覧頂けます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_235_1.pdf

【佐賀運輸支局唐津庁舎】

川内原発で総合防災訓練を実施

平成25年10月11日から12日までの2日間、政府主催の「原子力総合防災訓練」が実施され、九州運輸局からは2名が参加しました。

訓練は、11日の10時に薩摩川内市沖にて震度6強の地震及び津波が発生し、九州電力川内原子力発電所の原子炉が停止、緊急事態となったことを想定して行われました。

東京の官邸を始め、各省庁等の行政機関、鹿児島県等の地方公共団体、及び九電など約130機関・団体と住民、約3300人が参加し、実際に住民をバスで移動させる住民避難訓練や、放射能のスクリーニング（1）などを行う訓練等も行われました。

また、原子力発電所やオフサイトセンター（2）と、東京の官邸や原子力規制庁がテレビ会議で結ばれ、現場の情報を共有しながらの対応訓練も展開されました。

私たち運輸局職員は、オフサイトセンターの「住民安全班」に所属し、住民の避難状況等の情報収集・把握の役割を担いましたが、必要に応じて、人流・物流手段の確保や調整について参画することとなります。

今回のような政府主催の大規模な訓練は、福島原発事故以来初めてということでしたが、参加して、原発事故の恐ろしさと、防災訓練の大切さを、改めて再確認する事が出来ました。

1：スクリーニング・・・主に避難者を対象に、放射能による汚染や被ばくがないか濃度を測定すること。基準値を超えた場合は、除染を行う。

2：オフサイトセンター・・・原子力災害発生時における緊急時応急対策の現地拠点となる施設。原子力発電所から離れたところに設置されている。

【総務部 安全防災・危機管理調整官】

3 職場から

ストライクッ！ ボウリングで健康増進はいかが？

九州運輸局には、職員の健康増進と親睦を深めることを目的とした「ボウリング同好会」が存在します。2～3ヶ月に一度ボウリング好きの老若男女が集まり、爽やかな汗を流した後、反省会と称した懇親会（これが一番の楽しみ？）を開き、ボウリングの成績をアテにして盛り上がります。

少しだけ秋の気配を感じるようになった10月4日、福岡市博多区のボウリング場で平成25年度第2回大会を開催しましたが、週末の夜と言う事もあり、遠方から駆けつけた職員も参加して、大いに賑わいました。

練習ボールと始球式の後、プレーボール！

日頃蓄積された鬱憤を晴らすべく、力づくでボールを投げてピンをなぎ倒す人、ボールコントロールがうまくいかず、溝掃除を連発してうなだれている人、まぐれ(?)でストライクを出して、喜んでいる人……。悲喜こもごもの姿が見られました。

ゲーム終了後は、お待ちかねの反省会。席次は成績順で、年齢・役職関係無し。完全な「下剋上」となり、下位から上位にお酒を注ぎます。普段はなかなか体験できない、先輩からのお酌で、気分は最高!

ちなみに、優勝者が手にできるのは、乾杯の発声と名誉だけ。そんな気軽に楽しい同好会、いつまで続くのやら……?

【総務部総務課】

4 イベント情報

飫肥城下まつり

日時：10月19日(土)～20日(日)

場所：宮崎県日南市飫肥(おび) 飫肥城周辺

概要：飫肥伊東藩の飫肥城復元を記念して開催されている祭です。早馬により祭りが始まり、泰平踊などの郷土芸能の披露や武家装束をまとった江戸時代さながらの市中パレードがあります。

せんちょう い草の里まつり

日時：10月20日(日)

場所：熊本県八代市千丁町 いぐさの里公園

概要：日本のい草の産地として有名な千丁町で行われる「い草の里まつり」。

式典、歌謡ショー、特産品販売、い草みこし、子どもみこしなどが催され、秋空のもとに歓声が響き渡ります。

武雄温泉秋まつり

日時：10月22日(火)～23日(水)

場所：佐賀県武雄市 武雄神社周辺

概要：22日の前夜祭には総勢60余チームによる壮絶な綱引き大会が、23日には827年の伝統を誇る流鏝馬行事などが行われます。

//////// 編集部より ///
庁舎周りに落ちた銀杏の実が異臭を放ち始めた今日この頃、巷では流行語大賞の話題もちらほら。今年は、激戦らしいです。

候補としては「今でしょ」「倍返し」「じゃじゃじゃ」は当然ノミネートされるでしょうが、ここにきて台頭してきたのが「おもてなし」。

東京オリンピック招致が成功した時は、犬を抱いて小躍りしてしまいました。

どれも良く耳にした言葉ですが、最後に出てきた方がインパクトがあって、大賞になりやすいとか……。果たして大賞の行方は?

ちなみに、私の大賞は既に決まっています。それは……

「おはようございます」

だって、毎日、何度も、口にする言葉ですから。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報
等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿く
ださい。

//

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192